

暁小学校 5年 山口 恭葵「三重の未来の海」

ぼくは釣りが好きで、三重県の桑名市や四日市市によく行きます。しかし最近、釣れる魚の数が少なくなり、魚の種類も以前とは変わってきたように感じます。海の環境が少しずつ変わっているのではないかと心配になります。

釣り場へ行くと、針や糸などのごみが落ちているのをよく見かけます。ぼくはできるだけ拾って持ち帰るようにしていますが、自分一人の力ではごみを減らすことには限界があります。釣りをする人、釣り場を訪れる人、海が好きな人一人一人が、海をきれいに使おうと意識することが大切だと思います。その気持ちが広がれば、三重の海はもっときれいになっていくはずです。

夏の自由研究では、桑名で昔は多く採れていた貝が少なくなっていたことを知りました。また、海苔も今は採れる量が少ない状態が続いているそうです。海の豊かさがなくなりかけている現実を知り、未来の三重の海を守りたいと強く思いました。

昔のようにたくさんの魚や貝、海苔が採れる海に戻すために何ができるのか、まだぼくには答えが分かりません。しかし、ごみを減らすことは今すぐにでもできます。これからもごみ拾いを続け、自分なりに調べ、できることを考えながら行動し、きれいで豊かな三重の未来にしていきたいです。